

防衛隊、鉄血難皇才二中隊

戦斗経過、概要 (要要参考)

シ、逐次集結セリ部隊ヲ三三〇日夕刻迄ニ新戦斗既備ニ就カス
元来夕三〇日兵ハス兵力ヲ以テ抗戦スルニ適スル地形ニ非ズ亦準備セ遊撃
隊、秘密陣地ニ構築シアルヲ以テ兵力配備困難加フルニ業、質劣等ナル
部隊不為意、如ク戦斗ヲ保ズ

2. 敵ニ専ラ挺身戦ヲ以テ戦斗スルハ半命ヲ受ク

3. 夕三〇日兵ハ支隊長直接指揮セリ

4. 夕三〇日未明才二中隊主力ヲ以テ川上地ヲ攻入ス若干ノ戦果アリ

22/4 兵力既備未完ニ先立テ一部ノ攻入ヲ受ク

5. 23/4 十五時本部及海軍部隊ノ一部ヲ以テ名護攻入ニ決立ス

弟三遊連隊長代理(夕三〇日)ヲ才二中隊長菅根少尉ニ命ズ

夕三〇日敵ハ全面的ニ攻勢ニ出スルモ孫美附近ニ達セズ(戦略包圍)

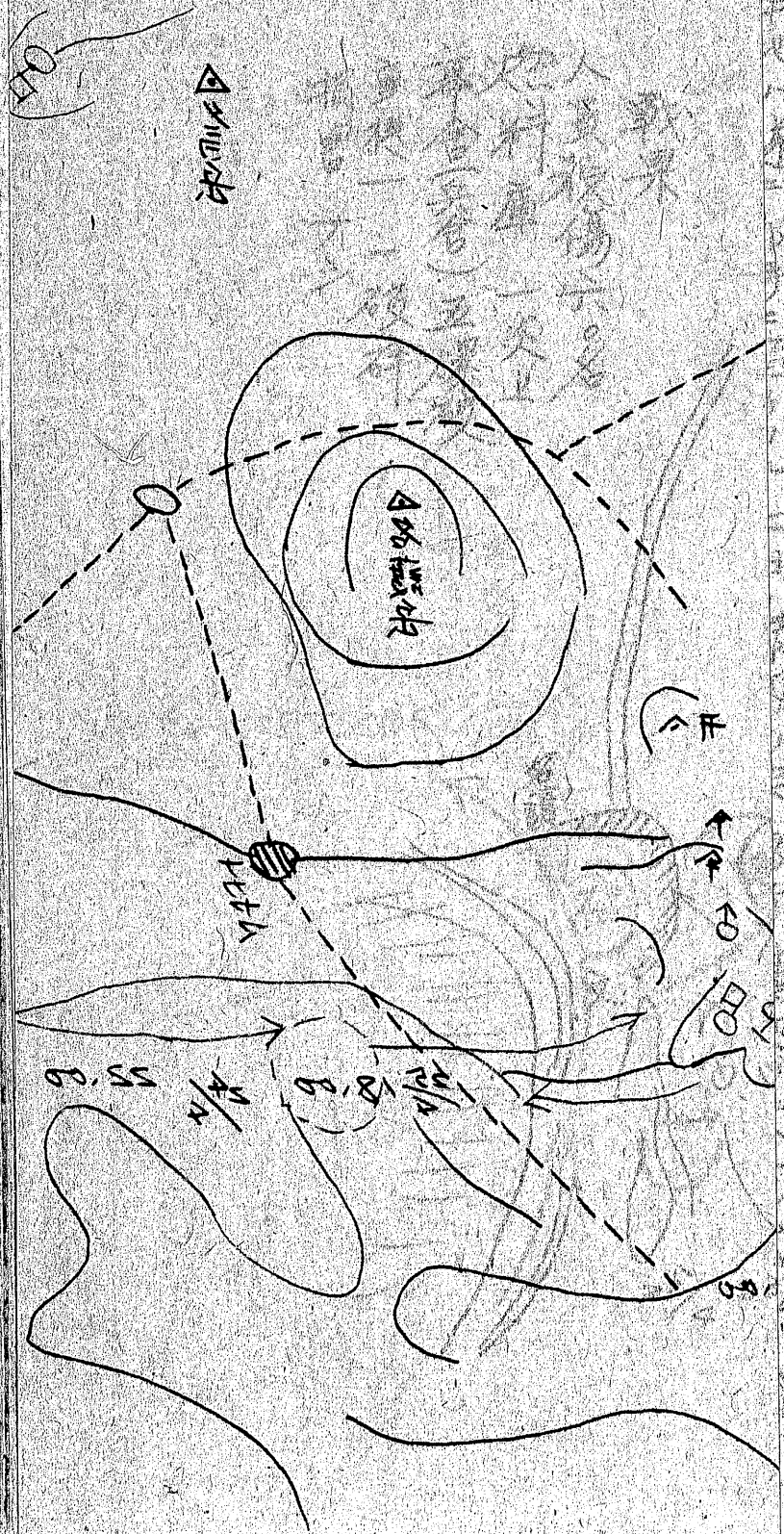
夕三〇日朝未名護、東江原、伊差川、真我屋地ニ砲兵陣地ヨリ
砲撃ヲ開始ス盡ニ至リ敵ハ戦車砲連ヲ加ハ全面的ニ前進ニ来ル

8. 二十四日夕刻支隊長以下全員國頭地ニ転進ス

9. 二十五日一部ノ戦斗ヲ交フルモ抗ニ得ズ夕三〇日兵ハ敵手ニ入ル

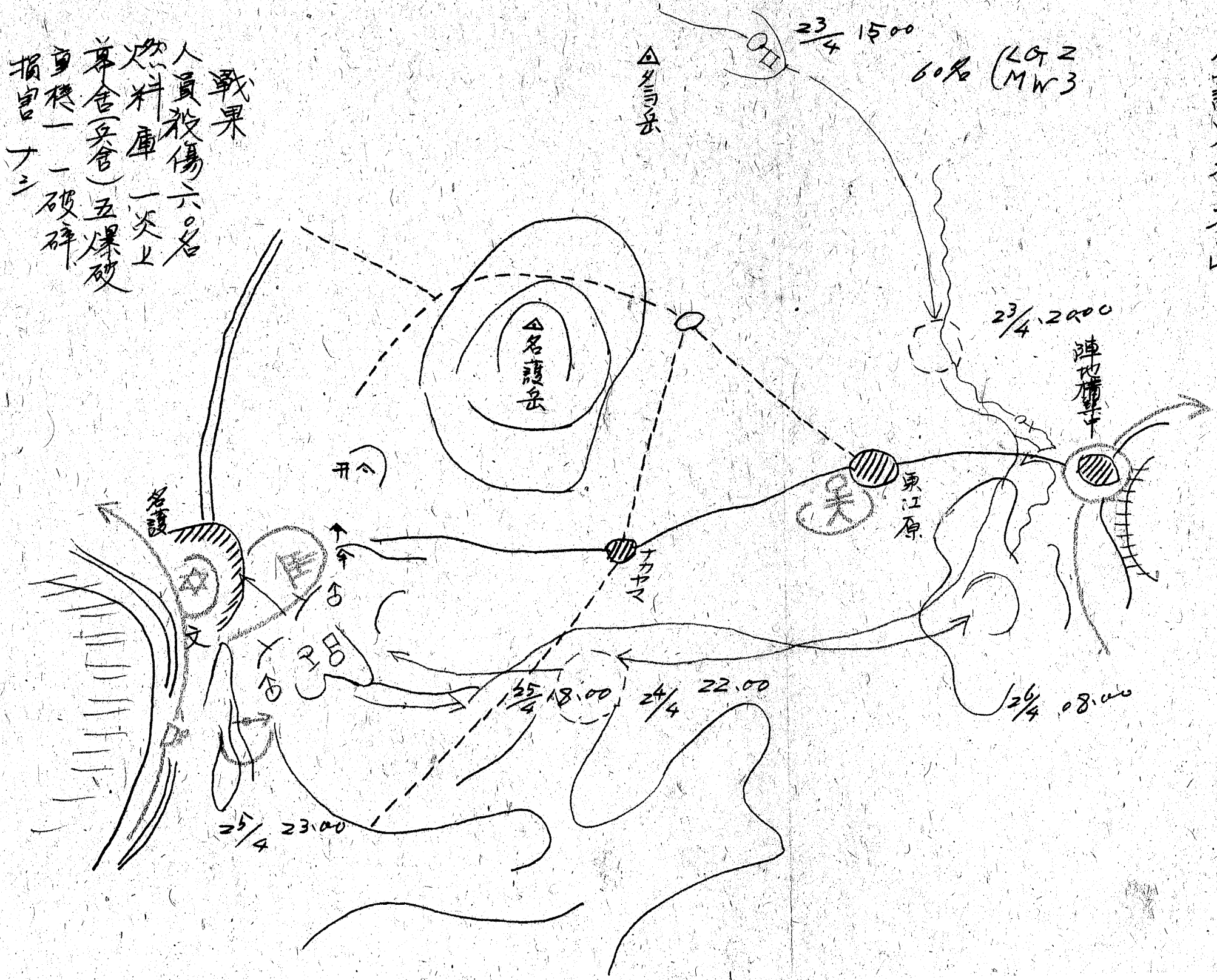
五、第二次遊撃戦斗、要要参考

一、本部中隊、早三〇日夕刻敵ハ後方孫美名護司令部ヲ奇襲
三、二十四日朝才二集結地真我屋江原東南方一帯ノ山地ニ集結セリ
五、二十四日夕刻支隊長以下全員國頭地ニ転進ス



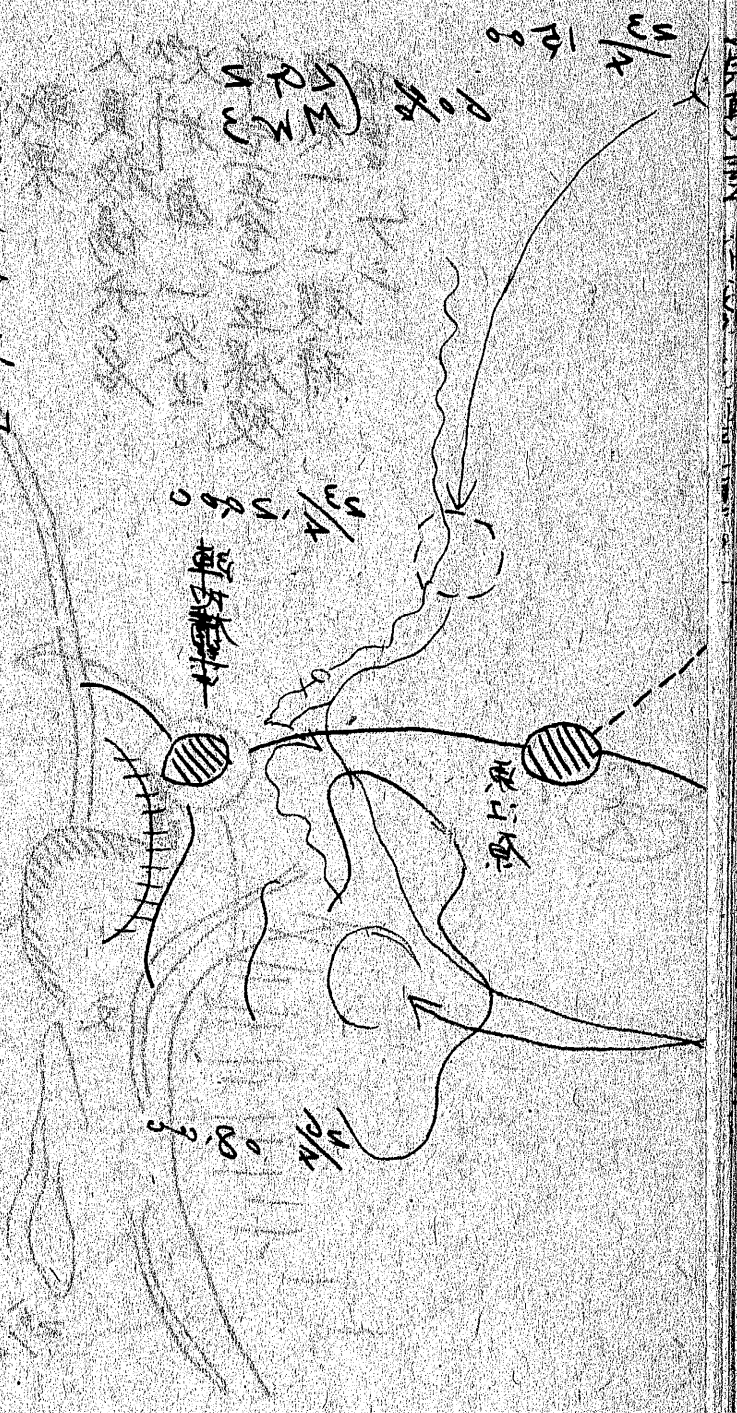
砲撃ヲ開始ス畫ニ至リ敵ハ戰車砲連ヲ死ハ全盾敵三前進ス
 8二十四日夕刻支隊長以下全員國頭地ニ戰進ス
 9二十五日一部ノ戰鬥ヲ交フル抗ニ得ス夕ニ日条ハ敵手ニ入ル

名護東江ノ攻圍



戦果
 人員殺傷六〇名
 燃料庫一次上
 幕舎(兵舎)五爆破
 倉庫一破碎
 損害ナシ

多羅東江の攻撃



三月五日敵の全面的に攻勢を敢て、我軍の退避を強いられた。戦況は(戦況包圍)に陥り、我軍は多羅東江の南岸に退き、敵軍は北岸に陣取った。我軍は南岸に陣取り、敵軍は北岸に陣取った。我軍は南岸に陣取り、敵軍は北岸に陣取った。

IV 第二次遊撃戦

自四月二十六日 至六月十五日

一般の状況

1. 本部中隊ヲ率ヒ四月二十五日夜敵の復方據吳名護司令部ヲ奇襲シ三月六日朝方ニ集結地莫タル東江原東南方一軒の山地ニ集結中夕ニ岳陣地ハ遂ニ敵手ニ陥ラズ一日情報ヲ得依而基地ヲ失ヘル我が隊ハ現在地附近ニ據点ヲ設定スル方各中隊掌握ノ為、慮及ラ採ル。搜括糧秣ハ餘ス所一食分ニシテ外ニシテ基地、糧秣糧秣ヲ善ク守リテハ心皆無エテ必然ナリカテテ任務ニ基テ断乎弟ニ次遊撃戦ニ移行ス。二各岳ヲ攻略セル敵ハ逃走友軍ヲ急迫シ本島横断、主要道路線ニ嚴重ナル警戒線ヲ構成ス。

3. 米海兵才六師團ハ冬曰岳以北ノ国頭地ニ於テ概シ女軍ノ戦力ヲ破碎セルモノ如ク五月初旬南部地ニ戦況樂觀ヲ許サズル状況トシ糧ニ主力ヲ名護集結三部ハ海路ヲ利用シ遂次沖繩南部戦線ニ移行ス。今爾後速ニ南地ニ移動部隊ニ對スル機動遊撃戦ヲ身勵セテ不天部隊現況ヲ許サズ專ラ部隊ノ掌握ニ盡カス五月十日ニ至リ初ナリ

各中隊ヲ完全ニ掌握ス
各種彈藥ノ不足トナシ、(之遊軍戰常道ナリ) 敵兵方後方基地
ヲ攻取リ民衆ヲ加ヘ撤去ナル遊軍戰ヲ反覆ス
敵中郷土出身青年兵ハ便衣ヲ着用シ秘密情報ヲ收集シ糧秣ノ
確保ニ挺身シ更ニ攻取リテハ積極果敢ク遊軍隊ノ本領ヲ
發揮セリ郷土民衆ヲ基盤トセル民衆工作成果モ漸ク現ニ挺身
遊軍戰爲メ諜報補給源トシテノ有利ニ利用セリ
アホニ次遊軍戰ノ特徴ハ小部隊(比敵的裝備優秀)ノ強的奇襲
一三名ノ小教秘密遊軍戰法ヲ併用セリ

第二期遊軍戰之過概要

七日潛入(合法的)非合法的潛伏
八日情報收集連絡系統ノ確立
九日攻取再興ノ序
八月九日幹部会同シテ遊軍隊編成ヲ解除ス
八月十五日第一特務班ヲ終戦報ヲ受ク

